東日本大震災・対策本部ニュース

心つないで

No.43

発行 2012年10月6日
東日本大震災
ろっこう医療生協・対策本部〈本部長・金丸正樹〉
（ろっこう医療生協・本部内　TEL　078-802-3424）

2012秋期・第1陣・田上師長(六甲道診)と門永統括事務長(灘診)の大船渡報告

「ろっこうさんですね」と迎えられて

〇以下、第1陣メンバーの田上師長、門永統括事務長のレポートです。

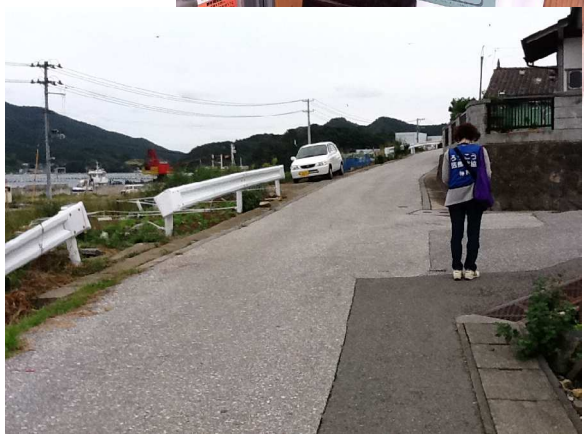
・10/1　大船渡に入りました。今日は大船渡保健介護センターで佐藤保健師さんから明日からの行動の説明を受けました。長洞仮設住宅で健康調査票を回収しながら健康相談を行います。「まだまだ退去できる方は少なく、内陸から大船渡に戻ってきて仮設に入居される方もおられる」とのこと。

・10/2 長洞仮設で訪問活動。最初に支援員さんに挨拶に立ち寄ると、「ろっこうさんですね」と憶えていて下さいました。集会室には、夏のインターンシップの活動が紹介されていました。【写真・右】

・小雨が降る中、訪問して健康調査票を聞き取りながら回収しました【写真・上】。約80戸の訪問で留守が多く、15件ほどの回収でした。
・沢川仮設の鈴木ハルさんも待っていてくださいました。(鈴木さんは、水彩画を趣味とし、記録集「心つないで」の表紙画を提供いただいた方)【写真・右】

・10/3 昨日に続き、長洞仮設を訪問しました。昨日訪問してお留守だったお宅では、健康調査票を玄関に貼っておいてくださった方もありました。東北の方のこういった真面目なところに毎回感心させられます。【写真・下】

「被災地よりそい募金」がスタートしました。支援活動の財政を支えるため、年度末までに百万円以上をめざします。ご協力を。

・午後からは在宅被災者、応急修理住宅の訪問を行いました。

津波で被災した自宅を改修してお住まいの方のお宅の訪問です。壊滅的な被害のあった地域との境界のあたりなので、仮設住宅に比べると海の近くの地域になります。訪問したお宅の近くは、潮が満ちると冠水してきます。【写真・右】